# フィールドに生きる
## ―海外地域研究のあり方―

文・写真　藤原健藏
（名誉教授）

中国新聞社の第五十一回中国文化賞を、本学からは元文学部の藤原名誉教授と元理学部の西岡名誉教授の二名の名誉教授と医学部の穂下教授が受賞された。

受賞理由はそれぞれ、「南極大陸やインド農村などの地理学的研究を発展させた」功績、「カエルを研究材料として、発生遺伝学の分野で成果」を挙げた功績、「コレステロールと胆汁酸の関係を生化学的に研究」した功績に対してである。

### 「花巻」と私

岩手県の「花巻」。この小さな町の名は、東北の遅い春五月、北上の川面に落ちた桜の花びらが、静かに渦を巻くさまに由来すると言われています。しかし、子どもの私にとって、北上川は、時には川沿いの田や畑、時には家すら押し流す恐ろしい存在でもありました。そうした恵みと災禍を人間に与える自然、それをみつめ考えることが私の生涯の仕事になろうとは…。このたび中国文化賞を頂いて思うことは、そのことであります。

地理学の道を志して以来、東北の山々の成立ちを尋ね、南極にその氷雪の変遷を探り、インドの村人の幸せを願って炎熱の中を歩き、また広島の山と川の保全に頭を悩ましてきましたが、どれをとっても道なかばの感を否めません。「歩く、見る、考える」を身上として地理学に取り組んできた研究生活は、どれをとっても真剣勝負でありました。

### 大干ばつ下でのインド農村調査

忘れられない多くのなかで特に思い起こされるのは、一九八七年、「今世紀最悪」と言われた大干ばつの中で行ったインドの農村調査であります。

同年の七月、一週間前から税関で調査機材の受け取りに当たっていた隊員二人にデリー空港で迎えられて驚いたのは、彼らがげっそり痩せてしまっていたこと。昨年から雨が降らず、連日四五度を下らない炎熱のためだ。調査地のタール砂漠の方から、連日、熱風と砂塵（じん）が送られてくる。研究テーマは「干ばつ常習地域の農村開発」。村人には悪いが、打ってつけの年だと思った。

共同研究者のシャルマ教授とともにラージャスターンの州政府や開発事務所に挨拶回り。調査許可が遅れたのは、「ご覧のように外国人の調査隊を受け入れられる状況ではない」ためだったとのこと。先方もかなり無理して許可してくれた様子。

調査予定のアバネリ村に入った。村内は暑さのために死んだように静か…。それでも、村長たちは遠来の客を暖かく迎えてくれました。何時ものことながら有り難い。地域調査に対する私の持論は、「宿舎は村人に近く」「食事は現地もの」。でも今回は、これを貫くことは至難のわざと思った。



### 蚊と蟻と下痢

幸い有力者の居宅を借りて、日本・インドあわせて十三～十五名の合宿生活。室内ではとても眠れず、蚊帳とござを抱えて庭で寝ると、蟻の一斉攻撃。食事と水の確保がこれまた大変。少々の下痢はインドでの通過儀礼、しかし赤痢・肝炎・コレラは絶対避けねばならない。隊員の健康維持は隊長の責務。生水を厳禁し、隊員たちの水筒に入れる水づくりに夜中までかかった。

「元気に帰ること。これが今回の研究成果だと慰められ、ぐっ！ときました」とは、後で聞いた若い隊員の述懐。しかし、予想以上の研究成果をあげ、「広島大学方式」のインド地域研究として評価されました。

村内でただ一つ残った井戸に集まる女性たち
（1987年9月，インド・ラージャスターン州の村にて）

### 受賞して思うこと

思えば、私は興味の赴くまま、つぎつぎと研究の範囲を広げてまいりました。この間、たくさんの方々に支えられてきました。これまでの成果を、どのように纏（まとま）め上げるかが、今後の私の仕事と思います。このたびの受賞で、またまた気が重くなりました。有難うございました。（ふじわら・けんぞう）



## 保健管理センター霞分室について（案内）

保健管理センター霞分室長　中村重信

霞キャンパスに学び・働いている学生・教職員の皆さん、霞体育館二階にある保健管理センター霞分室がさらに利用しやすくなったことを知っていますか。知らない方もおられるようなので利用についての案内をします。

保健管理センター霞分室は、霞キャンパスに在籍している学生及び教職員の疾病予防と健康増進を図ることを目的とする施設です。

この目的に沿って次のようなことをしています。

一．定期健康診断：春（四～五月）には学生の、秋（九月）には教職員の定期健康診断を行います。

二．健康相談：身体的な健康上の相談、救急処置、医療機関への紹介等を医師・看護婦が行います。「学生健康保険組合員」の場合は、医師による診療は無料です。

三．心理相談：心の健康上の問題や学生生活における様々な悩みの相談に、カウンセラーが応じます。

四．健康診断書の交付：定期健康診断を受診している場合には、月曜日、木曜日に受付及び交付をします。

五．診療日、診療時間は左表のとおりです。

【健康相談】

| 曜日／時間 | 9：30～10：30 | 10：30～11：30 | 13：00～14：00 | 14：00～15：00 |
|---|---|---|---|---|
| 月 | 内科 | 内科 | 内科 | 内科 |
| 火 | 歯科 | 皮膚科 | 内科 | 外科 |
| 水 | 内科 | 内科 | 整形外科 | 精神科神経科 |
| 木 | 内科 | 内科 | 外科 | 内科 |
| 金 | 歯科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | 産科婦人科 |

【心理相談】

月曜日と木曜日に保健管理センター霞分室で受け付けていますので、気軽に電話してください。月曜日と木曜日以外は保健管理センター（西条）に電話してください。

六．連絡先

＊保健管理センター霞分室電話《外線257－5555（内線2034）》

＊保健管理センター電話〈外線西条直通0824－24－6192〉

＊事務担当：医学部学務課電話〈外線直通257－5051〉